

Living together for our future

FUJITSU GENERAL Way

FUJITSU GENERAL Way は、私たち富士通ゼネラルグループが持続的に発展する上で、土台となる基本指針であり、当社が目指すべき姿と、お客様と社会のために果たすべき使命、存在価値を表すものです。た、富士通ゼネラルグループで働くすべての人が行動する上で、判断の拠り所となる羅針盤です。私たちは、企業理念に掲げたミッションを達成するための行動を実践し、事業を通じて、快適・健康・安心・安全な社会の実現、その先にあるいのちを見つめ、世界中の人々と共に未来を切り拓いてまいります。

FUJITSU GENERAL Way の体系

FUJITSU GENERAL Way は企業理念、行動規範の二層から成り立っています。

企業理念

Our Mission

私たち、富士通ゼネラルグループが目指すべき姿を宣言したものです。

Our Philosophy

Our Mission を実現するために、私たちが大切にしている考え方を示したものです。

行動規範

富士通ゼネラルグループの社員として
厳守すべきことを表したものです。

- 人権を尊重します
- 法令を遵守します
- 公正な商取引を行います
- 知的財産を守り尊重します
- 機密を保持します
- 業務上の立場を私的に利用しません

編集方針

本報告書は、ステークホルダーの皆さまに対して、富士通ゼネラルグループの中長期的な価値創造について、より一層のご理解をいただくことを目的に、企業価値を高めるための経営戦略、業績をはじめとする財務情報や、サステナブル経営への取り組みを中心とした非財務情報を総合的に報告するために作成したものです。より詳細な情報に関しては、当社Webサイトをご覧ください。

- 報告対象期間：2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）
ただし、一部はそれ以外の期間の内容も含まれます。
- 報告対象組織：株式会社富士通ゼネラルおよびその連結子会社・持分法適用会社
- 発行：2021年10月

※本報告書における表示単位未満の端数については、金額および所有株式数は切り捨て（ただし、億円単位で記載の金額に限り四捨五入）、各種比率は四捨五入にて表示しています。
●「ノクリア」は株式会社富士通ゼネラルの高標登録です。
本報告書の一部または全部を許可なく転載することを禁じます。



Our Mission

- 共に未来を生きる -
私たちは、革新的なモノづくりを通じて、世界中のお客様と社会のために、安らぎに満ちた、今日にない明日を届けます。

Our Philosophy

自発的に取り組みます

私たちは、自己成長のための努力を惜しまず、たゆまぬ創意工夫と先見力で、自ら新しい事に挑戦します。

人を思い活かします

私たちは人を思いやり、異なる文化と多様性を活かし、協調と対話を通じて、人の可能性を最大化します。

誠実さを大切にします

私たちは、誠実さを旨とし、常に高い倫理観を持って人として正しい道を歩みます。

目次

企業理念・編集方針・目次	1
富士通ゼネラルグループ概要	3
社長メッセージ	5
価値創造のストーリー	7-24
価値創造のプロセス	7
トップインタビュー	11
財務総括	17
特集	21
成長戦略	25-34
事業の全体像	25
空調機事業	27
情報通信・電子デバイス事業	31
サステナブル経営の実現	35-58
担当役員メッセージ	35
サステナブル経営推進のためのマテリアリティ特定と重点取り組みテーマ	36
人権に対する取り組み	38
環境に対する取り組み (TCFDに基づく開示)	39
社会に対する取り組み	46
社外取締役メッセージ	51
ガバナンス	54
データ集	65-74
財務・ESGハイライト	65
財務データ	67
会社概要	75-78
当社年間トピックス	75
基礎情報	77

将来に関する予測・予想・計画について

本報告書には、富士通ゼネラルグループの過去と現在の事実だけでなく、将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これらの予測・予想・計画は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定のない判断であり、諸条件の変化によって将来の事業活動の結果や事象が異なるものになる可能性があります。

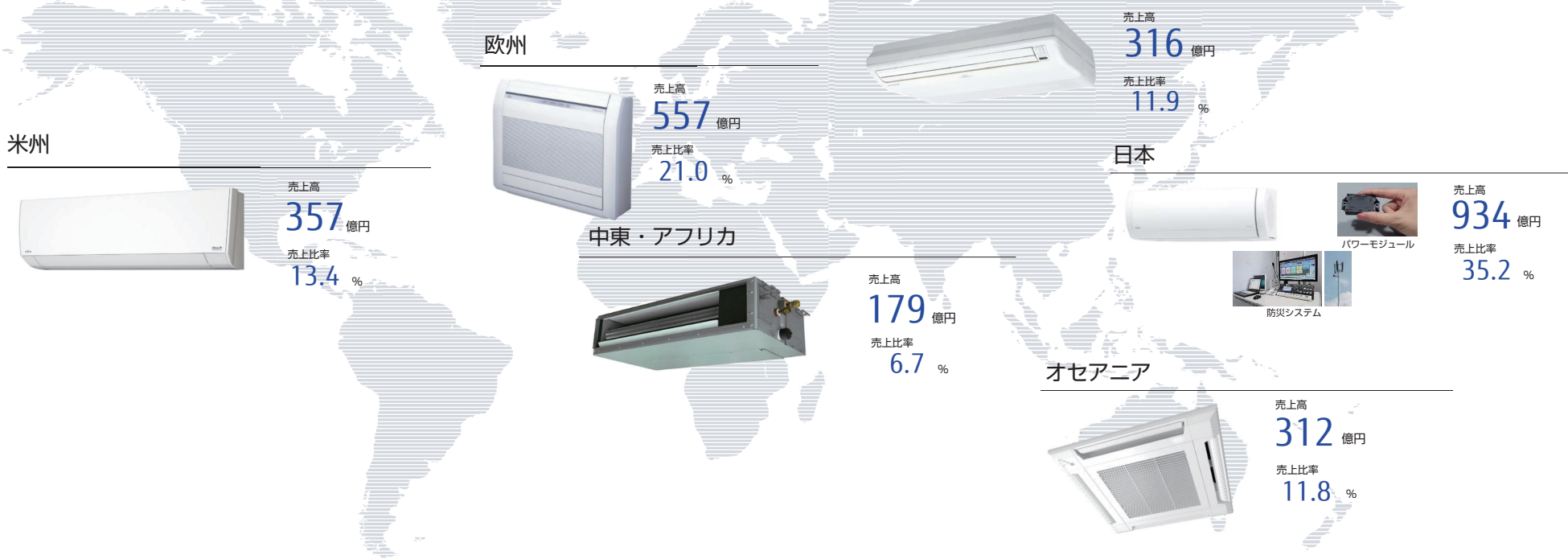
読者の皆さまには以上をご承知いただきたくお願いいたします。

富士通ゼネラルグループ概要

快適・安心・安全な社会の実現へ

富士通ゼネラルグループは、空調機事業、情報通信・電子デバイス事業を通じて、世界 100 か国以上のの人々に、心地よい空間、安心・安全を提供しています。

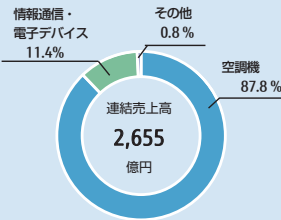
※数値は 2020 年度実績



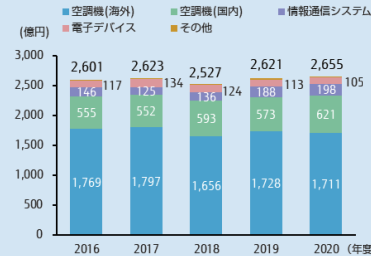
当社グループの事業

<p>空調機事業</p> <p>"いのちが変わる、空気をつくる"</p> <p>いつも "人" を包みこんでいる、"空気" という存在。 富士通ゼネラルは、快適でクリーンな "空気" を生み出す空調機器でその時代、その地域に最適な本当の "こころよさ" を実現します。</p>	<p>情報通信システム事業</p> <p>"安心・安全の未来を共につくる"</p> <p>創業期から続く通信機事業。富士通ゼネラルの情報通信システム事業は、これからも私たちの暮らす社会の未来に向けて、安心安全をお届けします。</p>	<p>電子デバイス事業</p> <p>"世界に誇る高度な技術・提案力"</p> <p>緻密で精度の高い品質と信頼性をお届けします。</p>
---	---	--

セグメント別売上高構成比率



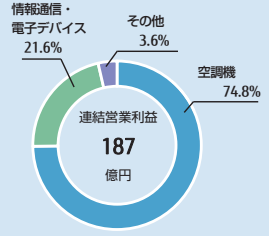
売上高



営業利益 / 営業利益率



セグメント別営業利益構成比率



社長メッセージ



Innovation & Globalization

今日にない明日を、世界の人に

Living together for our future - 共に未来を生きる -

私たちは、革新的なモノづくりを通じて、世界中のお客様と社会の
ために、安らぎに満ちた、今日にない明日を届けます。

株式会社富士通ゼネラル
代表取締役社長 経営執行役社長

斎藤 雄郎

サステナブル経営は「未来との契約」の履行

新型コロナウイルス感染拡大がまだ収束せず、世界の人々の生活や経済活動に重大な影響を及ぼしている状況が続いています。このような状況下、減少傾向にあった貧困・飢餓人口は増加に転じ、ワクチン接種が不十分な新興国では経済成長見通しが下方修正されるなど、格差の更なる拡大が懸念されており、私たちの目の前には、気候変動による自然災害の被害を受けやすい弱者が取り残されつつある厳しい現実が広がっています。

富士通ゼネラルグループが営む空調機、情報通信・電子デバイスの各事業は、持続可能な社会実現にとって必要不可欠であり、サステナビリティなしに当社グループのビジネスを語ることはできません。当社グループの企業理念に掲げる「Our Mission - 共に未来を生きる - 」は、持続可能な開発目標（SDGs）の理念である「誰一人取り残さない」と同義語です。これらを踏まえ、当社グループでは、2021年3月に「サステナブル経営の基本方針」を策定し、Planet（地球との共存）、Society（社会への貢献）、Our People（社員との共感）を重点テーマとした取り組みを進めています。

私たちには、カーボンニュートラルの早期実現、ならびに革新的なモノづくりによる社会課題の解決を通じて気候変動への影響を最小限に抑え、次世代を担う子どもたち、さらに、その先の世代が元気に暮らせる環境を提供する責任があります。サステナブル経営を推進することは、いわば「未来との契約」の履行プロセスです。

当社グループは、社会的要請があるからではなく、本業を通じて、まさに我々の存在理由として、真正面からサステナブル経営に取り組んでいきます。

Innovation & Globalization で更なる成長を目指す

2021年1月、富士通ゼネラルは創業85周年を迎えました。創業時、八尾敬次郎氏（創業者）は「いつの日かこの小さな会社が、世界を舞台に雄飛する」との夢・希望を胸に抱いていたと伝えられています。また、他社に先駆けて海外向け空調機ビジネスを展開してから50周年となる年でもあります。当時、技術者が中東地域に赴き、現地の気候風土を体感しつつ、気温50℃を超える環境下で24時間連続運転に耐えうるエアコンを開発し、海外空調ビジネスの礎を築きました。

こうしたInnovation & GlobalizationのDNAは、現在でも脈々と受け継がれており、主力の空調機では、数多くの業界初となる独自機能を開発・商品化してきました。また、欧米企業との提携・協業の推進、インドや豪州でのソリューションビジネスへの本格参入など、新たなビジネスモデル構築を進めています。2021年3月には紫外線照射装置を開発・販売する日本企業のエアロシールド㈱を子会社化し、除菌・清潔ニーズへの対応も進めています。情報通信システムでは、災害対策の「浸水アラートシステム」の実証実験を開始し、電子デバイスでは、様々な分野で省エネ化に貢献する次世代パワーモジュールを2021年度からサンプル出荷する予定です。

2022年度は、中期経営計画の区切りの年度となりますが、これはあくまで通過点に過ぎません。当社グループは、「サステナブル経営」を成長戦略の中核に据え、中期経営計画の達成、さらに、長期的な事業の成長・発展を図るべく、企業理念の実践を通じて持続可能な社会実現に貢献し、ステークホルダーの皆さまの期待に応えていきます。